

新型コロナウイルス感染拡大から市民生活守れ！6月議会での日本共産党議員団の一般質問



ひららぎ哲也議員

**休業補償不払い
雇用調整基金
臨時休校中の
昼食代支給の
当市でも実施を**
臨時休校中の
昼食代支給の
当市でも実施を



はしづめ法一議員

**PCR検査
センター設置を
病院内の統合再編
病院の統合一設置を
県に撤回迫れ
面会の支援を**
PCR検査
センター設置を
病院内の統合再編
病院の統合一設置を
県に撤回迫れ
面会の支援を



上野こうえつ議員

**新型コロナウイルス感染
認識と対策は
財政調整基金
今こそ活用を
地域振興NPOを
支援の手立てを**
新型コロナウイルス感染
認識と対策は
財政調整基金
今こそ活用を
地域振興NPOを
支援の手立てを

3人の先頭を切つて10日に質問に立つた上野議員は、新型コロナウイルス感染拡大による自粛要請などで疲弊した暮らしと経済への認識と対策をただしました。

市長は、「リーマンショック後や東日本大震災後を上回る厳しい状況との認識を示し、融資に対する助成、家賃・リース料への助成、雇用調整助成金の申請費補助、中小企業等への市独自の給付、プレミアム付商品券の発行支援などを行った」と述べました。

これに対して上野議員は、各種の助成金の申請のハードルが高い点を指摘し、「財政調整基金をある程度使うだけで上乗せ助成ができる。今こそ使うべきではないか」と迫りました。

また、多くのイベントが行われない中、地域振興や活性化に資するNPO団体への支援を求めました。

市長は、「国や県、市が行っている各種支援制度の情報提供と活用促進を行っているほか、公的業務を受託するNPOには必要な委託料を支払っている」と述べ、今後、活動の活性化に伴う相談にはしっかりと寄り添いながら対応すると答えました。

12日午前に質問に立った橋爪議員は、まずPCR検査センターの設置を求めて市長の姿勢をただしました。

市長は、「上越保健所管内では、かかりつけ医が必要と判断した場合を含めてすべて速やかな検査が実施されている。現在は、医療機関の負担を軽減するため、当地区に適したセンターの形態や、その運営方法について、3人の最後に質問に立った平良木議員は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、市内の職場で休業補償賃金が支払われない場合の対処や、不払いの背景にある「雇用調整助成金の申請が困難である」という実態と、支援の効果の検証についてただしました。

市長は、「担当課への電話相談で不安の声が数件寄せられたが、相談内容を聞いて、中小企業等への市独自の給付、プレミアム付商品券の発行支援などを行った」と述べました。

これに対して上野議員は、各種の助成金の申請のハードルが高い点を指摘し、「財政調整基金をある程度使うだけで上乗せ助成ができる。今こそ使うべきではないか」と迫りました。

また、多くのイベントが行われない中、地域振興や活性化に資するNPO団体への支援を求めました。

市長は、「国や県、市が行っている各種支援制度の情報提供と活用促進を行っているほか、公的業務を受託するNPOには必要な委託料を支払っている」と述べ、今後、活動の活性化に伴う相談にはしっかりと寄り添いながら対応すると答えました。

日本共産党上越市議員団ニュース
No.662 2020年6月21日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
先 平良木哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

国の補正予算受けて6月議会を2日間延長

今議会は当初16日までの予定でしたが、12日に国の第2次補正予算が成立したことを受けて、急遽2日間延長されました。

17日には当初議案の採決に続いて追加議案に対する総括質疑が行われ、上野議員が提案内容をただしました。その後、委員会審議を経て、18日には追加議案と請願などの採決が行われました。17日と18日の審議や採決の結果は、追加議案を含めて次号で紹介いたします。